

# 大会ルール

- 1 本大会は、令和5年度日本バドミントン協会競技規則、ならびに大会運営規程に基づき行う。
- 2 準々決勝以降は21ポイント、それ以前のゲームは15ポイントで行う。
- 3 15ポイント時の延長ゲームは、14オールから2点差がつくまで行う。ただし、20オールになった場合は、先に21点を取ったサイドをそのゲームの勝者とする。
- 4 21ポイント時の延長ゲームは、20オールから2点差がつくまで行う。ただし、29オールになった場合は、先に30点を取ったサイドをそのゲームの勝者とする。
- 5 インターバルは、15ポイントゲームでは8点、21ポイントゲームでは11点の時に、60秒以内で取ることができる。ゲーム間のインターバルは、120秒を超えないこととする。
- 6 ベンチでは、携帯電話やタブレット等、モバイル端末の使用を禁止する。
- 7 使用シャトルについては、令和5年度日本バドミントン協会検定合格球を使用する。
- 8 団体戦では、試合前3分間の練習時間を設ける。  
個人戦では、朝に5分間の練習時間を設ける。※朝練習割当をご確認ください。
- 9 フロアにおける水分補給は、スクイズボトルおよびふたつきの容器のみ認める。
- 10 審判について  
団体戦…敗者校が主審(教員)、線審、得点係を行う。  
個人戦…敗者校が主審と得点係、勝者校が線審を行う。
- 11 プレーに関する主審への確認について  
団体戦…選手と監督が主審に質問することができる。  
個人戦…選手のみが主審に質問することができる。
- 12 監督及びコーチは、選手のチェンジエンドと共に移動するものとする。
- 13 ベンチへの入場について  
団体戦のベンチには、事前にエントリーした選手、監督、コーチ、マネージャーが入場できる。  
個人戦のベンチには原則として、監督+入場許可者とする。(生徒のベンチ入りは不可)  
変更がある場合は、団体戦、個人戦の監督会議開始までに、競技委員長に変更届を提出。  
(コーチ・入場許可者の変更は、改めて申請書を提出しないと認められない。)  
団体戦メンバーの変更は認めるが、追加は認められない。  
ベンチに入る監督・コーチの服装は、襟付きシャツ・長ズボン(ジャージ可)とする。
- 14 団体戦、個人戦ともに、監督がビデオ撮影する場合、ベンチ脇から撮影を行う。試合開始から終了までスタンドに固定しておくこととする。(ビデオカメラやタブレット端末も同様とする。)ただし、通信機能を使用してのライブ配信等は認めない。  
※保護者がギャラリー席から撮影することを許可する。ただし、撮影した写真や動画はSNS等に掲載したり、ライブ配信をしたりしないこと。
- 15 男女とも、団体はベスト4以上、個人は単複ともにベスト8以上の選手を表彰する。
- 16 今大会の団体戦上位3校、シングルス上位3名、ダブルス上位3ペアには、8月1～3日に岩手県北上市で開催される、第44回東北中学校バドミントン大会への出場権を与える。

## ※注意事項

- 1 土足厳禁。
- 2 生徒による写真および動画の撮影は禁止する。  
※入場を許可された写真業者はフロアでの撮影を可とする。
- 3 ゴミは確実に持ち帰ること。
- 4 廊下等の会場敷地内でラケットを使用した練習をしないこと。(ストレッチ、アップ等も禁止)
- 5 会場での飲食について、フロアでの飲食は厳禁。ギャラリー(観客席)での飲食は可。  
※ガムなど口に食べ物を入れた状態で移動することは厳禁。
- 6 トイレや飲食した場所などは、きれいに使用すること。
- 7 貴重品は各自で管理すること。
- 8 会場内の破損を発見した場合は、速やかに本部席に報告して下さい。
- 9 ロビーは使用できません。

# ※大会参加の心得

## 1〔入場について〕

- ・大会会場への入場制限を設ける。
  - 団体戦 → 監督・コーチ・引率教員・登録選手・マネージャー・補助員(最大5名)
  - 個人戦 → 監督・入場許可者・引率教員・出場選手・補助員(最大5名)
- ※今大会では、観客の入場制限は行いません。
- ・朝の会場への入館は、西側・北側の入場口に分かれて行う。
  - 西側正面口 → 仙台市外の中学校
  - 北側入場口 → 仙台市内の中学校

## 2〔観戦について〕

- ・指定された座席での応援を基本とするが、別のアリーナで自チームの試合を行うときは、観客席1列目に移動して応援することも可とする。
- ・応援は自然発生的なもののみとする。
- ・保護者席はありません。座席は、各学校に割り当てているため、勝手に使用しないこと。
- ・昼食は、ギャラリーの自席でのみ可とする。ゴミは各自持ち帰りとする。
- ・館内の共用部分は、一般の方も使用します。マナーを守って行動すること。

## 3〔試合前について〕

- ・試合コールのアナウンスをよく聞き、コール後に速やかにコートに入れるように準備しておくこと。
- ・個人戦では、フロア内に待機スペースを設けます。試合をするアリーナではない座席に割り当てられている選手は、メインアリーナでは試合の10番前、サブアリーナでは5番前を目安として、使用しても構いません。※選手以外は使用できません。
- ・コートサイドのカゴは設置しない。タオルやボトル等は直接フロアには置かず、各自バッグを持参することとする。

## 4〔試合中について〕

- ・試合前のあいさつ時は、シャツインをしておくこと。

## 5〔試合後について〕

- ・選手はコートに残り、次の試合の審判を行う。
  - ※アナウンスを確認し、速やかに次の試合の審判用紙を受け取り、進行すること。

## 6〔開・閉会式について〕

- ・全員、指定された座席に着席して行う。
- ・競技審判上の注意、会場使用上の注意を放送により伝達する。事前に各校で周知徹底をしてもらう。
- ・表彰は準備が整い次第、アナウンスを入れて行う。